

『野方保育所が民間移管に』

3月20日(月), 町立野方保育所の運営移管調印式が、大崎町役場応接室で行われました。

移管先は社会福祉法人ちびっこ福祉会(吉岡順一理事長)で、4月から『野方保育園』として新たにスタートしました。4月以降はこれまで実施してきた学童保育を始め、新たに延長保育や自主事業としての休日保育、一時保育も実施されることから、保護者の保育ニーズに十分応えることのできる保育園になるものと期待されます。

調印後、理事長の吉岡さんは「将来を担う子ども達の育成のためにがんばっていききたい。」と話されました。



▲調印後、固く握手を交わす吉岡理事長ら
写真左から、東靖弘町長、小野光夫議長、吉岡順一理事長



『自衛隊入隊者、今年は19人』

3月22日(水), 平成18年度大崎町自衛隊新入隊者壮行会が役場庁舎別館会議室において行われました。

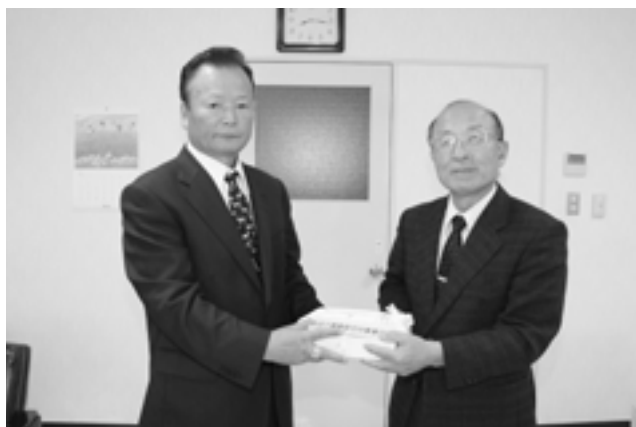
今回、大崎町からの入隊者は19人(陸上自衛隊5人・海上自衛隊12人・航空自衛隊2人)で、そのうち15人が壮行会に出席し、東靖弘町長や大河内敦郎自衛隊父兄会会長ほか関係者が入隊者を激励しました。

また、入隊者を代表して中萩将一さんが「これからは自衛隊員として、また社会人として邁進してまいります。」と力強く話してくれました。

『大崎ソフトが県大会で4度目V』

第32回鹿児島県ちびっこソフトボール大会(最終日:3月21日)が桜島溶岩グラウンドにおいて開かれ、大崎ソフトボールスポーツ少年団(新留勝郎監督)が決勝で伊作を4-3で破り6年ぶり4度目の優勝を果たし、県内男子220チームの頂点に立ちました。

3月30日(木), 団員や保護者ら20人が町長室を訪れ優勝報告を行い、主将の岩元聖弥くんは「中学、高校に進学してもがんばっていきます。これからも応援よろしくお願いします。」と話してくれました。



▲写真左から、川越金蔵さん、諸木逸郎教育長

『県トラック協会が新1年生に交通安全定規をプレゼント』

3月31日(金), 鹿児島県トラック協会曾於支部長の川越金蔵さんが教育長室を訪れ、今年、入学した小学校1年生に交通安全標識入りの定規を寄贈してくださいました。

これは、鹿児島県トラック協会が毎年、県内の新入学児童に対してプレゼントしているもので、川越さんは「子ども達に交通安全ルールを理解してもらうことで、交通事故ゼロの一役を担ってほしい。この活動は今後も続けていきたい。」と話されました。